

(様式2)

令和3年度 施策評価シート

1 施策の位置づけ

基本戦略	2. 一人一人が活躍できる村をつくります
重点目標	3. 村の産業振興と村民の雇用確保
主要施策	3-2. 森林の保全と資源の活用に推進します

2 施策の評価

指標 (KPI)	単位	基準値	達成値					目標値	担当課
		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
村有林及び民有林が整備された面積	ha	5.8	6.4	5.25				30.0	産業振興課

3 主な取組

1 森林整備の推進							総合評価	
計画的な森林整備、里山整備を進めるとともに、県等と連携し、間伐事業や松くい虫対策を推進							A	
事務事業名	担当課	記号	成果	コスト	評価	重点化		
36 森林保全推進員活動謝礼	産業振興課	7	休止	皆減	C			
37 村有林管理巡視謝礼	産業振興課	5	維持	維持	A			
38 松くい虫防除対策委託料	産業振興課	5	維持	維持	A			
39 森林整備補助金	産業振興課	5	維持	維持	A			
40 松くい虫防除対策補助金	産業振興課	5	維持	維持	A			
41 林道整備委託料	産業振興課	5	維持	維持	A			
42 林道重機等整備委託料	産業振興課	5	維持	維持	A			
43 林道整備重機使用料	産業振興課	5	維持	維持	A			
2 森林資源の活用							総合評価	
カラマツ等の村産材について、情報発信や販路拡大に向けた取組を推進し、利活用を図る木材や特用林産物の生産・利用する企業の誘致や人材の確保							—	
事務事業名	担当課	記号	成果	コスト	評価	重点化		
3 森林と触れ合う機会の提供							総合評価	
森林の整備等を通じ、村民同士や企業、村外の人が交流する機会や場を設けることによる、村の豊かな資源である森林の周知や有効活用							A	
事務事業名	担当課	記号	成果	コスト	評価	重点化		
44 朝日小みどりの少年団育成協議会補助金	産業振興課	5	維持	維持	A			

4-1 施策の評価・検証 (産業振興課)

評価視点	評価コメント
事業構成の適正	森林の持つ多面的機能を発揮させるため、計画的な森林整備を推進していく。また、森林が持つ役割を理解いただくため、子供達や企業等による森林体験や交流の促進を実施する。
事業の重点化	林業施業者や森林経営管理制度による事業を支援し、計画的な森林整備を推進する。また松くい虫防除対策を徹底して行い、赤松林の保護に努める。

【朝日村第6次総合戦略】

基本戦略	2. 一人一人が活躍できる村をつくります										
重点目標	3. 村の産業振興と村民の雇用確保										
主要施策	3-2. 森林の保全と資源の活用に推進します										
予算科目	款	'06	項	'02	目	'02	開始年度	2	年度	所管課	産業振興課
事業名称	森林保全推進員活動謝礼						細節名称	報償費			
概要	目的	森林資源、環境、鳥獣の保護のため、朝日村森林の現況把握のための現状把握						経費区分	経常		
	対象	専門的見地を持った巡視員						補助単独	単独		
	手段	巡視に対する活動謝礼						新/継	継続(維持)		
	目標	1人×14回 = 14回の巡視				活動指標					

【事業の実績】 Do

事務事業の 主な業務	令和2年度		事業費	令和3年度		事業費	令和4年度		事業費
	① 活動謝礼		84	①			①		
②				②			②		
③				③			③		
④				④			④		
財源 (千円)	決算額			決算額			決算額		
	(内訳)	国県支出金		(内訳)	国県支出金		(内訳)	国県支出金	
		地方債			地方債			地方債	
		その他特財			その他特財			その他特財	
		一般財源	84		一般財源			一般財源	
取組内容 と成果	鳥獣被害防止のための動向調査や熊出没状況などを総合的に監視していただいていたが、事業整理のため、令和2年度末にて廃止。生息調査はとりまとめを担当職員により実施。								
目標実績値	14	単位	回		単位			単位	
課題	廃止としたが、定期的な観測データが更新されなくなったことで、今後の野生鳥獣被害防止計画の基礎データ確保が課題。								

【事業の評価】 Check

【事業の改善・方向性】 Action

区分	項目	担当者	係長	今後の方向性					
評価の 視点	必要性	・目標達成等により、必要性が希薄	C	C	拡大	④	②	①	
		・事業の休止・廃止した場合の影響			維持	③	⑤		
		・行政が行う必要の度合い			縮小	⑥			
	効率性	・経費は適正、必要最小限であるか	C	C	休止・廃止	⑦	✓		
		・最良の手段・手法であるか			皆減	縮小	維持	拡大	
		・他事業との連携・調整は図られているか			コスト				
妥当性	・他計画との整合性はあるか	C	C	総合評価					
	・受益者負担の有無、適正であるか			区分		担当者	係長		
	・特定の個人・団体へ受益が偏っていないか			A: 計画どおりに事業を進めることが適当		C	C		
協働性	・住民等への協力・理解が図られているか	B: 事業の進め方の改善の検討							
	・住民等との役割分担がされているか	C: 事業規模・内容・主体の見直し検討							
	・民間等へ移管可能か、検討されているか	D: 事業の統合・休廃止の検討							

【事業の計画】 Plan

年度	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
事業内容	事業廃止								
財源 (千円)	予算額			予算額			予算額		
	(内訳)	国県支出金	0	(内訳)	国県支出金	0	(内訳)	国県支出金	0
		地方債			地方債			地方債	
		その他特財			その他特財			その他特財	
		一般財源	0		一般財源			一般財源	
目標値	0	単位	回		単位			単位	

【朝日村第6次総合戦略】

基本戦略	2. 一人一人が活躍できる村をつくります										
重点目標	3. 村の産業振興と村民の雇用確保										
主要施策	3-2. 森林の保全と資源の活用に推進します										
予算科目	款	'06	項	'02	目	'02	開始年度	2	年度	所管課	産業振興課
事業名称	村有林管理巡視謝礼							細節名称	報償費		
概要	目的	朝日村の公有財産である村有林の管理謝礼							経費区分	経常	
	対象	村有林の審議会である村有林管理委員							補助単独	単独	
	手段	巡視に対する謝礼							新/継	継続(維持)	
	目標	5人×3回 = 15回の巡視					活動指標				

【事業の実績】 Do

事務事業の 主な業務	令和2年度		事業費	令和3年度		事業費	令和4年度		事業費
	①	②		③	④		⑤	⑥	
① 活動謝礼			90	①			①		
②				②			②		
③				③			③		
④				④			④		
財源 (千円)	決算額			決算額			決算額		
	(内訳)	国 県 支 出 金		(内訳)	国 県 支 出 金		(内訳)	国 県 支 出 金	
		地 方 債			地 方 債			地 方 債	
		そ の 他 特 財			そ の 他 特 財			そ の 他 特 財	
		一 般 財 源	90		一 般 財 源			一 般 財 源	
取組内容 と成果	災害等の確認業務を住民の代表者である村有林管理委員会に現状を把握していただいた。								
目標実績値	15	単位	回		単位			単位	
課題	今後も継続実施していくこと。								

【事業の評価】 Check

【事業の改善・方向性】 Action

区分	項目	担当者	係長	今後の方向性			
				④	②	①	③
必要性	・目標達成等により、必要性が希薄	A	A	④	②	①	③
	・事業の休止・廃止した場合の影響			③	⑤	④	②
	・行政が行う必要の度合い			⑥			
	・経費は適正、必要最小限であるか			⑦			
効率性	・最良の手段・手法であるか	A	A	皆減	縮小	維持	拡大
	・他事業との連携・調整は図られているか			コスト			
妥当性	・他計画との整合性はあるか	A	A	総合評価			
	・受益者負担の有無、適正であるか			区分		担当者	係長
協働性	・特定の個人・団体へ受益が偏っていないか	A	A	A: 計画どおりに事業を進めることが適当			
	・住民等への協力・理解が図られているか			B: 事業の進め方の改善の検討			
	・住民等との役割分担がされているか			C: 事業規模・内容・主体の見直し検討			
	・民間等へ移管可能か、検討されているか			D: 事業の統合・休廃止の検討			
				A		A	

【事業の計画】 Plan

年度	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
事業内容	周辺市町村では林業振興会や林政委員等の制度を設けており、議員としての報酬を受けている。朝日村では林務に関する審議に対して、当委員会が必要。継続的に確認視察をしてもらうことで、朝日村の森林の現状について、検討するために継続実施していく。								
財源 (千円)	予算額			予算額			予算額		
	(内訳)	国 県 支 出 金		(内訳)	国 県 支 出 金		(内訳)	国 県 支 出 金	
		地 方 債			地 方 債			地 方 債	
		そ の 他 特 財			そ の 他 特 財			そ の 他 特 財	
		一 般 財 源	90		一 般 財 源	0		一 般 財 源	0
目標値	15	単位	回		単位			単位	

【朝日村第6次総合戦略】

基本戦略	2. 一人一人が活躍できる村をつくります										
重点目標	3. 村の産業振興と村民の雇用確保										
主要施策	3-2. 森林の保全と資源の活用に推進します										
予算科目	款	'06	項	'02	目	'02	開始年度	2	年度	所管課	産業振興課
事業名称	松くい虫防除対策委託料						細節名称	委託料			
概要	目的	松枯れ被害の低減による森林保護								経費区分	経常
	対象	松枯れ被害木の伐倒燻蒸処理事業者								補助単独	単独
	手段	松枯れ被害木の伐倒燻蒸処理業務委託								新/継	継続(維持)
	目標	処理量 180㎡					活動指標				

【事業の実績】 Do

事務事業の 主な業務	令和2年度		事業費	令和3年度		事業費	令和4年度		事業費
	① 防除委託		8,100	①			①		
②			②			②			
③			③			③			
④			④			④			
財源 (千円)	決算額			決算額			決算額		
	(内訳)	国県支出金		(内訳)	国県支出金		(内訳)	国県支出金	
		地方債			地方債			地方債	
		その他特財			その他特財			その他特財	
		一般財源	8,085		一般財源			一般財源	
取組内容 と成果	村内被害木175㎡の伐倒駆除業務の委託を実施。								
目標実績値	175	単位	㎡		単位			単位	
課題	現在、環境譲与税財源での実施だが、被害規模が増加を続けているため、別の財源対策を考慮する必要がある。								

【事業の評価】 Check

【事業の改善・方向性】 Action

区分	項目	担当者	係長	今後の方向性					
必要性	・目標達成等により、必要性が希薄	A	A	成果	拡大	④	②	①	
	・事業の休止・廃止した場合の影響				維持	③	⑤	✓	
	・行政が行う必要の度合い				縮小	⑥			
	・経費は適正、必要最小限であるか	休止・廃止	⑦						
効率性	・最良の手段・手法であるか	A	A	コスト					
	・他事業との連携・調整は図られているか			皆減	縮小	維持	拡大		
妥当性	・他計画との整合性はあるか	A	A	総合評価					
	・受益者負担の有無、適正であるか			区分		担当者	係長		
協働性	・特定の個人・団体へ受益が偏っていないか	A	A	A: 計画どおりに事業を進めることが適当					
	・住民等への協力・理解が図られているか			B: 事業の進め方の改善の検討					
	・住民等との役割分担がされているか			C: 事業規模・内容・主体の見直し検討					
	・民間等へ移管可能か、検討されているか			D: 事業の統合・休廃止の検討					
				A		A			

【事業の計画】 Plan

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業内容	金額ベースで、年間1.4倍の増加量を持つので、財源に留意しながら対策を進めることで、被害量の低減を図る。		
財源 (千円)	予算額	0	0
	(内訳)	(内訳)	(内訳)
	国県支出金	国県支出金	国県支出金
	地方債	地方債	地方債
	その他特財	その他特財	その他特財
	一般財源	一般財源	一般財源
目標値	350	単位	㎡

【朝日村第6次総合戦略】

基本戦略	2. 一人一人が活躍できる村をつくります										
重点目標	3. 村の産業振興と村民の雇用確保										
主要施策	3-2. 森林の保全と資源の活用に推進します										
予算科目	款	'06	項	'02	目	'02	開始年度	2	年度	所管課	産業振興課
事業名称	森林整備補助金						細節名称	補助金			
概要	目的	県が行う公共造林事業に対する地権者負担を軽減するための増嵩補助事業								経費区分	経常
	対象	林業施業体								補助単独	単独
	手段	信州の森林づくり事業など県事業実施主体に対する補助金制度								新/継	継続(維持)
	目標	増嵩補助 8630千円				活動指標					

【事業の実績】 Do

事務事業の 主な業務	令和2年度		事業費	令和3年度		事業費	令和4年度		事業費
	①	増嵩補助		①			①		
	②		8,630	②			②		
	③			③			③		
	④			④			④		
財源 (千円)	決算額			決算額			決算額		
	(内訳)	国県支出金		(内訳)	国県支出金		(内訳)	国県支出金	
		地方債			地方債			地方債	
		その他特財			その他特財			その他特財	
		一般財源	8,630		一般財源			一般財源	
取組内容 と成果	中俣沢団地での整備に対して、増嵩補助を実施。								
目標実績値	8630	単位	千円		単位			単位	
課題	補助率が他市村と比べ低いことから、事業体が朝日村での施業を敬遠しており、他市村と比べ森林整備が立ち遅れている。								

【事業の評価】 Check

【事業の改善・方向性】 Action

区分	項目	担当者	係長	今後の方向性			
必要性	・目標達成等により、必要性が希薄	A	A	拡大	④	②	①
	・事業の休止・廃止した場合の影響			維持	③	⑤	✓
	・行政が行う必要の度合い			縮小	⑥		
	効率性	・経費は適正、必要最小限であるか	A	A	休止・廃止	⑦	
・最良の手段・手法であるか		皆減			縮小	維持	拡大
	・他事業との連携・調整は図られているか			コスト			
妥当性	・他計画との整合性はあるか	B	A	総合評価			
	・受益者負担の有無、適正であるか			区分		担当者	係長
協働性	・特定の個人・団体へ受益が偏っていないか	A	A	A: 計画どおりに事業を進めることが適当		A	A
	・住民等への協力・理解が図られているか			B: 事業の進め方の改善の検討			
	・住民等との役割分担がされているか			C: 事業規模・内容・主体の見直し検討			
	・民間等へ移管可能か、検討されているか			D: 事業の統合・休廃止の検討			

【事業の計画】 Plan

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業内容	継続した増嵩の補助制度の堅持が必要なため、朝日村の補助上限を目標の金額とし継続する。長期的な見通し計画を作成する。		
財源 (千円)	予算額	0	0
	(内訳)	(内訳)	(内訳)
	国県支出金	国県支出金	国県支出金
	地方債	地方債	地方債
	その他特財	その他特財	その他特財
	一般財源	一般財源	一般財源
目標値	8630		
	単位	千円	単位

【朝日村第6次総合戦略】

基本戦略	2. 一人一人が活躍できる村をつくります										
重点目標	3. 村の産業振興と村民の雇用確保										
主要施策	3-2. 森林の保全と資源の活用に推進します										
予算科目	款	'06	項	'02	目	'02	開始年度	2	年度	所管課	産業振興課
事業名称	松くい虫防除対策補助金						詳細名称	補助金			
概要	目的	被害が進行する松くい虫被害低減にむけた防除補助事業								経費区分	経常
	対象	朝日村民								補助単独	単独
	手段	山林以外の松に対する予防(樹幹注入)と駆除(伐倒駆除)に対する補助事業								新/継	継続(維持)
	目標	年間補助件数 10件				活動指標					

【事業の実績】 Do

事務事業の 主な業務	令和2年度		事業費	令和3年度		事業費	令和4年度		事業費
	①	②		③	④		⑤	⑥	
① 予防・駆除事業補助			100	①			①		
②				②			②		
③				③			③		
④				④			④		
財源 (千円)	決算額			決算額			決算額		
	(内訳)	国県支出金		(内訳)	国県支出金		(内訳)	国県支出金	
		地方債			地方債			地方債	
		その他特財			その他特財			その他特財	
		一般財源	84		一般財源			一般財源	
取組内容 と成果	村内造園業者を通じ呼びかけを行い、樹幹注入の施行を実施。 予防事業対象木の枯損は現在のところ確認されていない。								
目標実績値	8	単位	件		単位			単位	
課題	樹幹注入の適期が1月から3月であることから、利用啓発の呼びかけに難しさがある。								

【事業の評価】 Check

【事業の改善・方向性】 Action

区分	項目	担当者	係長	今後の方向性				
評価の 視点	必要性	・目標達成等により、必要性が希薄 ・事業の休止・廃止した場合の影響 ・行政が行う必要の度合い	A	A	拡大	④	②	①
					維持	③	⑤	✓
					縮小	⑥		
	効率性	・経費は適正、必要最小限であるか ・最良の手段・手法であるか ・他事業との連携・調整は図られているか	A	A	休止・廃止	⑦		
コスト								
妥当性	・他計画との整合性はあるか ・受益者負担の有無、適正であるか ・特定の個人・団体へ受益が偏っていないか	B	B	総合評価				
				区分	担当者	係長		
協働性	・住民等への協力・理解が図られているか ・住民等との役割分担がされているか ・民間等へ移管可能か、検討されているか	A	A	A: 計画どおりに事業を進めることが適当				
				B: 事業の進め方の改善の検討				
				C: 事業規模・内容・主体の見直し検討				
				D: 事業の統合・休廃止の検討				
				A				
				A				

【事業の計画】 Plan

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業内容	事業開始が平成28年であることから、薬剤効果の観点から5年が樹幹注入の効果期限である。そのため、従前の実施者に対して、再度樹幹注入を促しながら実施していく。		
財源 (千円)	予算額	0	0
	(内訳)	(内訳)	(内訳)
	国県支出金	国県支出金	国県支出金
	地方債	地方債	地方債
	その他特財	その他特財	その他特財
	一般財源	一般財源	一般財源
目標値	15	単位	件

【朝日村第6次総合戦略】

基本戦略	2. 一人一人が活躍できる村をつくります										
重点目標	3. 村の産業振興と村民の雇用確保										
主要施策	3-2. 森林の保全と資源の活用に推進します										
予算科目	款	'06	項	'02	目	'04	開始年度	2	年度	所管課	産業振興課
事業名称	林道整備委託料						細節名称	委託料			
概要	目的	朝日村村内16路線の林道維持にかかわる重機に係る整備委託料						経費区分	経常		
	対象	林業施業体						補助単独	単独		
	手段	建設、土木会社への委託による林道整備事業						新/継	継続(維持)		
	目標	年間整備林道 2道				活動指標					

【事業の実績】 Do

事務事業の 主な業務	令和2年度		事業費	令和3年度		事業費	令和4年度		事業費
	① 委託料		177	①			①		
②			②			②			
③			③			③			
④			④			④			
財源 (千円)	決算額			決算額			決算額		
	(内訳)	国県支出金		(内訳)	国県支出金		(内訳)	国県支出金	
		地方債			地方債			地方債	
		その他特財			その他特財			その他特財	
		一般財源	115		一般財源			一般財源	
取組内容 と成果	7月の降雨等による雨水排水施設の閉塞による路盤損傷への対応。また、閉塞した雨水排水施設の復旧を実施。上ノ山線。								
目標実績値	1	単位	道		単位			単位	
課題	他市村に比べ、m辺りの整備金額が小さく問題。								

【事業の評価】 Check

【事業の改善・方向性】 Action

区分	項目	担当者	係長	今後の方向性					
必要性	・目標達成等により、必要性が希薄	A	A	成果	④	②	①		
	・事業の休止・廃止した場合の影響				③	⑤	✓		
	・行政が行う必要の度合い				⑥				
	・経費は適正、必要最小限であるか	⑦							
効率性	・最良の手段・手法であるか	B	B	コスト					
	・他事業との連携・調整は図られているか			皆減	縮小	維持	拡大		
妥当性	・他計画との整合性はあるか	A	A	総合評価					
	・受益者負担の有無、適正であるか			区分		担当者	係長		
協働性	・特定の個人・団体へ受益が偏っていないか	B	B	A: 計画どおりに事業を進めることが適当		A	A		
	・住民等への協力・理解が図られているか			B: 事業の進め方の改善の検討					
	・住民等との役割分担がされているか			C: 事業規模・内容・主体の見直し検討					
	・民間等へ移管可能か、検討されているか			D: 事業の統合・休廃止の検討					

【事業の計画】 Plan

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業内容	林道重機等整備委託料と合算予算。予算内の整備を目指す。経年による地形変更が進み、大幅な構造物修繕の検討が必要。(予算は林道重機等整備委託料と合算し計上)		
財源 (千円)	予算額	0	0
	(内訳)	(内訳)	(内訳)
	国県支出金	国県支出金	国県支出金
	地方債	地方債	地方債
	その他特財	その他特財	その他特財
	一般財源	一般財源	一般財源
目標値	2	単位	道

【朝日村第6次総合戦略】

基本戦略	2. 一人一人が活躍できる村をつくります										
重点目標	3. 村の産業振興と村民の雇用確保										
主要施策	3-2. 森林の保全と資源の活用に推進します										
予算科目	款	'06	項	'02	目	'04	開始年度	2	年度	所管課	産業振興課
事業名称	林道重機等整備委託料						細節名称	委託料			
概要	目的	朝日村村内16路線の林道維持にかかわる重機に係る整備委託料						経費区分	経常		
	対象	林業施業体						補助単独	単独		
	手段	建設、土木会社への委託による林道整備事業						新/継	継続(維持)		
	目標	年間整備林道 2道				活動指標					

【事業の実績】 Do

事務事業の 主な業務	令和2年度	事業費	令和3年度	事業費	令和4年度	事業費
	① 委託料	709	①		①	
	②		②		②	
	③		③		③	
	④		④		④	
財源 (千円)	決算額		決算額		決算額	
	(内訳)	国県支出金	(内訳)	国県支出金	(内訳)	国県支出金
		地方債		地方債		地方債
		その他特財		その他特財		その他特財
一般財源		一般財源		一般財源		
		703				
取組内容 と成果	山林内の災害予兆のあった桧俣、中俣の護岸兼用構造物の整備を実施。 道路崩落に伴う河川水災害を未然に防止。					
目標実績値	2	単位	道	単位	単位	
課題	林道整備委託料との差別化がなされないため、R3より合算にて対応。他市村に比べ、m辺りの整備金額が小さく問題。					

【事業の評価】 Check

【事業の改善・方向性】 Action

評価の 視点	必要性	・目標達成等により、必要性が希薄	A	A	今後の方向性			
		・事業の休止・廃止した場合の影響			成果	④	②	①
		・行政が行う必要の度合い			維持	③	⑤	✓
	効率性	・経費は適正、必要最小限であるか	B	B	縮小	⑥		
		・最良の手段・手法であるか			休止・廃止	⑦		
		・他事業との連携・調整は図られているか			コスト			
	妥当性	・他計画との整合性はあるか	A	A	総合評価			
		・受益者負担の有無、適正であるか			区分		担当者	係長
		・特定の個人・団体へ受益が偏っていないか			A: 計画どおりに事業を進めることが適当		A	A
	協働性	・住民等への協力・理解が図られているか	B: 事業の進め方の改善の検討					
・住民等との役割分担がされているか		C: 事業規模・内容・主体の見直し検討						
・民間等へ移管可能か、検討されているか		D: 事業の統合・休廃止の検討						

【事業の計画】 Plan

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
事業内容	予算は林道整備委託料に統合。					
財源 (千円)	予算額	0	予算額	0		
	(内訳)	国県支出金	(内訳)	国県支出金	(内訳)	国県支出金
		地方債		地方債		地方債
		その他特財		その他特財		その他特財
一般財源		一般財源		一般財源		
		0			0	
目標値		単位		単位		単位

【朝日村第6次総合戦略】

基本戦略	2. 一人一人が活躍できる村をつくります										
重点目標	3. 村の産業振興と村民の雇用確保										
主要施策	3-2. 森林の保全と資源の活用に推進します										
予算科目	款	'06	項	'02	目	'04	開始年度	2 年度		所 管 課	産業振興課
事業名称	林道整備重機使用料						細節名称	使用料及び賃借料			
概 要	目的	林道の軽微な対応のための重機借り上げ料						経費区分	經常		
	対象	林業施業体						補助単独	単独		
	手段	村オペレーターによる林道整備時の重機借り上げ料						新/継	継続(維持)		
	目標	年間整備林道 6道				活動指標					

【事業の実績】 Do

事務事業の 主な業務	令和2年度		事業費	令和3年度		事業費	令和4年度		事業費
	①	重機借り上げ料	191	①			①		
	②			②			②		
	③			③			③		
	④			④			④		
財源 (千円)	決算額			決算額			決算額		
	(内訳)	国 県 支 出 金		(内訳)	国 県 支 出 金		(内訳)	国 県 支 出 金	
		地 方 債			地 方 債			地 方 債	
		そ の 他 特 財			そ の 他 特 財			そ の 他 特 財	
一 般 財 源		187	一 般 財 源			一 般 財 源			
取組内容 と成果	鉢盛山線、檜保、舟ヶ沢、内山、外山、上ノ山線の整備実施。とくに、9月集中豪雨に対応し、上ノ山、外山を重点実施。								
目標実績値	6	単位	道		単位			単位	
課題	現在、大特免許所有者が数名しかおらず、費用低減が図れなくなる可能性が高い。								

【事業の評価】 Check

【事業の改善・方向性】 Action

評価の 視点	必要性	・目標達成等により、必要性が希薄	A	A	成果	拡大	④	②	①	
		・事業の休止・廃止した場合の影響				維持	③	⑤	✓	
		・行政が行う必要の度合い				縮小	⑥			
	・経費は適正、必要最小限であるか	休止・廃止	⑦							
	効率性	・最良の手段・手法であるか	A	A	コスト					
		・他事業との連携・調整は図られているか			皆減	縮小	維持	拡大		
	妥当性	・他計画との整合性はあるか	A	A	総合評価					
		・受益者負担の有無、適正であるか			区分			担当者	係長	
		・特定の個人・団体へ受益が偏っていないか			A: 計画どおりに事業を進めることが適当					
	協働性	・住民等への協力・理解が図られているか	A	A	B: 事業の進め方の改善の検討			A	A	
・住民等との役割分担がされているか		C: 事業規模・内容・主体の見直し検討								
・民間等へ移管可能か、検討されているか		D: 事業の統合・休廃止の検討								

【事業の計画】 Plan

年度	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
事業内容	・年間6から8道の整備を実施計画。春先の落石時、夏以降の降雨による林道損傷に対応する。								
財源 (千円)	予算額			0			0		
	(内訳)	国 県 支 出 金		(内訳)	国 県 支 出 金		(内訳)	国 県 支 出 金	
		地 方 債			地 方 債			地 方 債	
		そ の 他 特 財			そ の 他 特 財			そ の 他 特 財	
一 般 財 源		200	一 般 財 源			一 般 財 源			
目標値	6	単位	道		単位			単位	

【朝日村第6次総合戦略】

基本戦略	2. 一人一人が活躍できる村をつくります											
重点目標	3. 村の産業振興と村民の雇用確保											
主要施策	3-2. 森林の保全と資源の活用に推進します											
予算科目	款	'06	項	'02	目	'02	開始年度	2	年度	所管課	産業振興課	
事業名称	朝日小みどりの少年団育成協議会補助金							細節名称	補助金			
概要	目的	緑の基金を財源とする森林や自然を担う次世代の育成事業							経費区分	経常		
	対象	朝日小学校児童							補助単独	単独		
	手段	自然活動に対する補助金の交付							新/継	継続(維持)		
	目標	年間補助額 120万円					活動指標					

【事業の実績】 Do

事務事業の 主な業務	令和2年度		事業費	令和3年度		事業費	令和4年度		事業費
	① みどりの少年団への補助金		120	①		①			
②			②		②				
③			③		③				
④			④		④				
財源 (千円)	決算額			決算額			決算額		
	(内訳)	国県支出金		(内訳)	国県支出金		(内訳)	国県支出金	
		地方債			地方債			地方債	
		その他特財			その他特財			その他特財	
		一般財源	120		一般財源			一般財源	
取組内容 と成果	花壇の造成や花の苗の寄付、森林体験活動など実施。 朝日村の87%を占める森林を担う次世代の育成に資する。								
目標実績値	120	単位	千円		単位			単位	
課題	内容について、花壇、畑等が多いため、森林体験や特用林産栽培体験等の提案を行い実施してもらうこと。								

【事業の評価】 Check

【事業の改善・方向性】 Action

区分	項目	担当者	係長	今後の方向性				
必要性	・目標達成等により、必要性が希薄	B	A	拡大	④	②	①	
	・事業の休止・廃止した場合の影響			維持	③	⑤	✓	
	・行政が行う必要の度合い			縮小	⑥			
	効率性	・経費は適正、必要最小限であるか	A	A	休止・廃止	⑦		
・最良の手段・手法であるか		皆減 縮小 維持 拡大						
・他事業との連携・調整は図られているか		コスト						
妥当性	・他計画との整合性はあるか	B	B	総合評価				
	・受益者負担の有無、適正であるか			区分		担当者	係長	
	・特定の個人・団体へ受益が偏っていないか			A: 計画どおりに事業を進めることが適当		A	A	
協働性	・住民等への協力・理解が図られているか	B: 事業の進め方の改善の検討						
	・住民等との役割分担がされているか	C: 事業規模・内容・主体の見直し検討						
	・民間等へ移管可能か、検討されているか	D: 事業の統合・休止の検討						

【事業の計画】 Plan

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業内容	森林体験、工作教室の開催、特用林産栽培体験を実施。学校行事等負担を軽減しながら、実施内容を精査し、継続実施する。		
財源 (千円)	予算額 120		
	(内訳)	国県支出金	
		地方債	
		その他特財	80
	一般財源	40	
目標値	120	単位	千円